

寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。
(匿名希望を除く。50音順、2023年2月末現在)
この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

一般社団法人生産技術振興協会

編集委員のページ



吉川 健太郎

大津赤十字病院臨床研修医

2018年WHO本部インターン。2021年3月京都大学医学部医学科卒業。
京都大学医学部附属病院・大津赤十字病院にて臨床研修を行う傍ら、2020年より妊婦の生活・体調管理
サービスを手掛ける株式会社Famileaf代表取締役就任。

アスクレピオスの杖

COVID-19を巡る報道で頻繁に取り上げられ、知名度が急上昇した世界保健機関(WHO)。著者も2018年の夏、スイスのWHO本部でインターンをしていましたが、当時とのWHOに対する注目度が(良くも悪くも)大きく変わったことに戸惑いを感じています。一時期はテレビで見ない日はなかったWHOのテドロス事務局長ですが、その記者会見で背後のWHOのロゴマークを見るたびに思い出すのが、インターン初日に本部を案内してくれた上司の話です。ホールに掲げられたWHOのマークの前で立ち止まり、その由来について話してくれました。

そもそも国連のマーク上に描かれている杖に巻き付いた蛇は、古代ギリシャ人に治療の神として崇拝されていた名医・アスクレピオス(へびつかい座)がもっていたもので、太古の昔から医学の象徴だったそうです。ではなぜ蛇か。それは蛇の毒は噛まれると死に至ることもある危険なものである一方で、古代より薬としても知られる医薬品であったからです(諸説あり)。このひとを救う薬にも死をもたらす毒にもなる蛇はまさに医学そのものであり、医師として患者に向き合っていく私達が常にここに留めておかなければならないと思う今日この頃です。

World Health Day 2023 and WHO 75th Anniversary

毎年4月7日は世界保健デーです。2023年のテーマは「Health For All(すべての人に健康を!)」に決まりました。そして、2023年はWHOが発足して75周年のアニバーサリーイヤーとなります。これを受けて日本WHO協会では4月7日に記念イベントを開催します。また、当協会のホームページでは、主なメッセージの日本語訳を掲載していますので、QRコードよりぜひご覧ください。



Health
For All

